《巻頭言》

地域における世界禁煙デーイベントの開催を増やそう

一般社団法人 日本禁煙学会 理事長
NPO法人 禁煙みやぎ 理事長
山本蒔子

はじめに

今年も、世界禁煙デー関連イベントが各地で開催されたと思います。NPO法人禁煙みやぎは「第31回世界禁煙デー・宮城フォーラム」を仙台にて開催しました。イエローグリーンキャンペーン全国連絡協議会実行委員長の齊藤道也先生をお迎えして、先生が取り組まれた福島におけるキャンペーンの拡大をお話しいただきました。仙台市では改正健康増進法の施行以後、公園で喫煙する人たちが増えて大きな問題になっており、これに対する禁煙みやぎの取り組みを話し、仙台市に受動喫煙防止条例を制定して欲しいと訴えました。

日本禁煙学会会員による世界禁煙デーイベントの開催

日本禁煙学会会員による今年の世界禁煙デーのイベントを見てみますと、東北では、秋田が、秋田県、秋田県医師会と秋田・たばこを考える会が主催、山形ではNPO法人山形喫煙問題研究会が主催、福島は福島県医師会が主催し、共催は、いわき市医師会とTobacco—freeふくしまです。東京では日本禁煙学会、タバコ問題首都圏協議会及びイエローグリーンキャンペーン全国連絡協議会の共同開催で世界ノータバコ・デーのイベントを開催しました。愛知は子どもをタバコから守る会が主催し、大阪では、大阪支部と子どもに無煙環境を推進協議会の共催で、オンラインでフォーラムを開催しています。広島では、広島県医師会禁煙推進委員会が主催です。香川では、香川・タバコの害から健康を守る会の主催で、共催は香川県予防医学協会です。このように、地域の学会員が中心になっている禁煙推進団体が主催しているほか、県医師会等との共催もされていました。禁煙の大切さを地域において継続的に啓発するためには、全国のもっと多くの地域において、世界禁煙デーイベントの開催を行うことが必要です。

日本禁煙学会の支部について

日本禁煙学会では、地域的な活動を推進するため、支部設立を勧めています。現在、北海道、福島、大阪、及び熊本の4つの支部があります。支部の活動としては、禁煙に関する講習会や認定試験の実施があります。講習会は福島、京都、鳥取、熊本で開催されています。京都は支部ではありませんが、NPO法人タバコフリー京都が主催し、同じく鳥取では鳥取県西部医師会と鳥取県医師会が主催しています。世界禁煙デーイベントでは、大阪支部のオンライン開催のみでした。講習会や認定試験の実施は新たな会員の獲得に貢献しています。支部の多くは学術総会の開催の機会に結成されていますが、今後は支部活動をさらに盛んにしていくことが望まれます。

イエローグリーンキャンペーンの成功

イエローグリーンキャンペーンでは、ライトアップが好評で、イエローグリーンキャンペーン全国連絡協議会の作成した全国のマップ（図1、2）では、昨年に比較し、多くの地域でライトアップが行われて、大変素晴らしい成果を挙げました。

Think globally, Act locallyは、禁煙活動にも当てはまります。このライトアップをきっかけにして、地域において、日本禁煙学会会員や禁煙を推進する人達が集まって組織を作り、世界禁煙デーイベントを開催し、禁煙推進活動をさらに活発にしましょう。

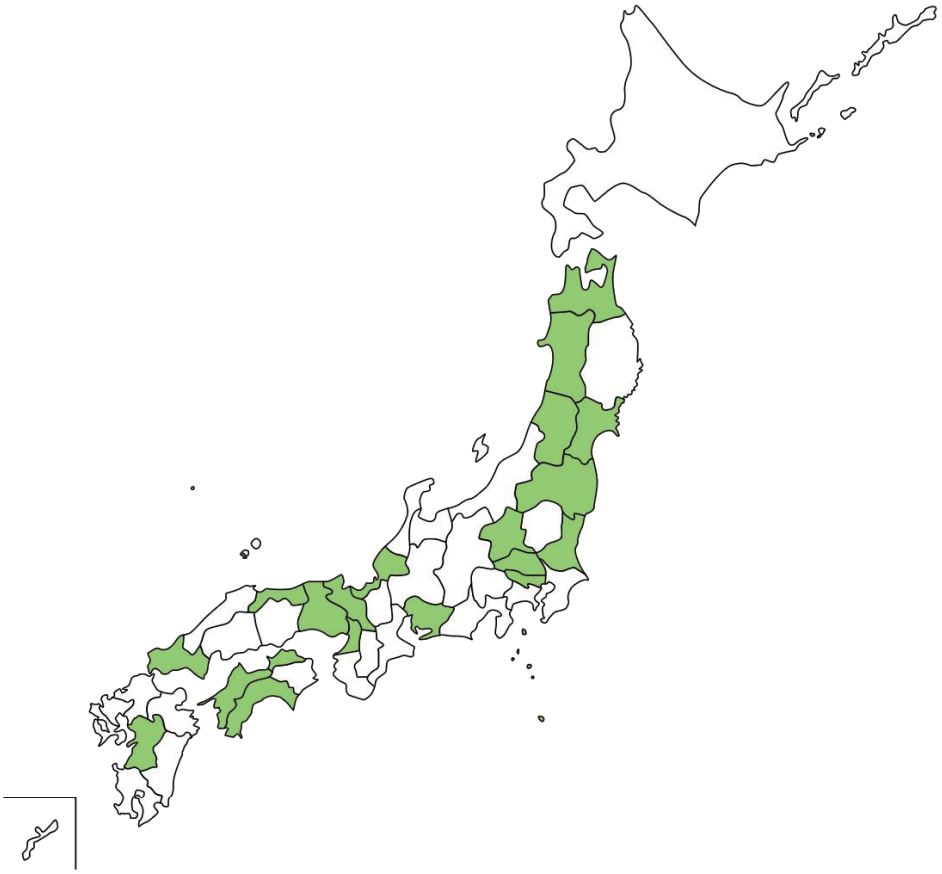

図1　2024年イエローグリーンライトアップ実施地域

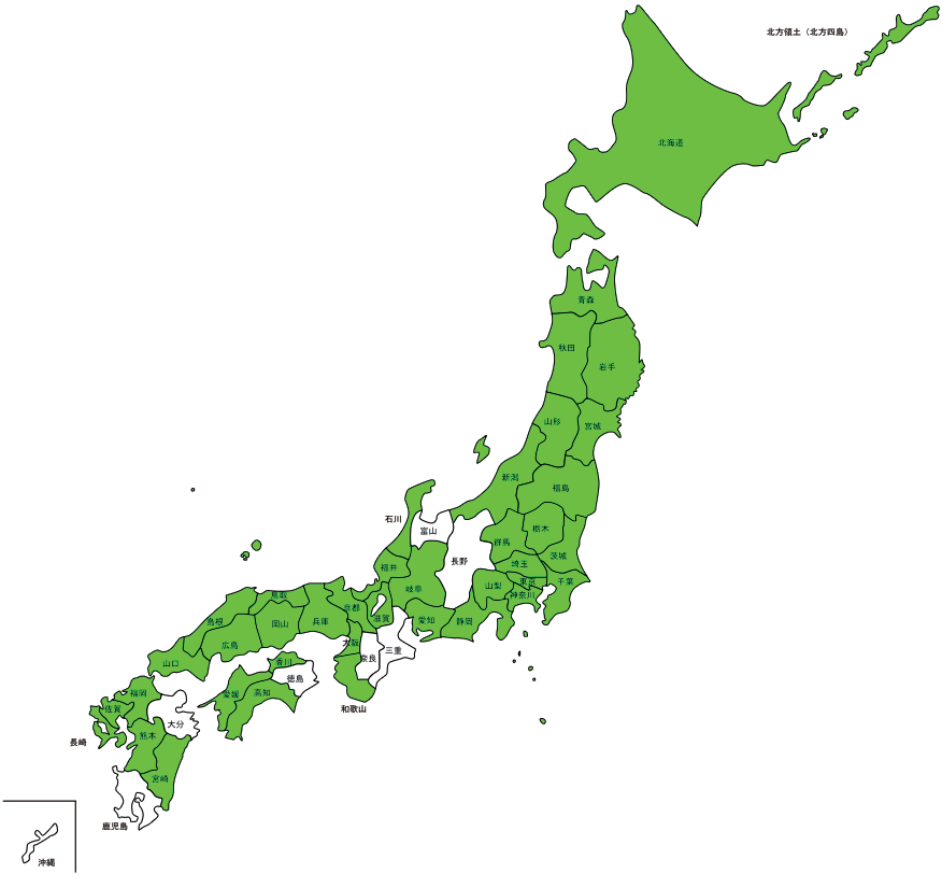

図2　2025年イエローグリーンライトアップ実施地域